

天上山公園

天上山公園は、毎日数千人という観光客を呼び込む富士五湖エリアの中で最も人気のある観光スポットのひとつです。河口湖の東、標高 1,104m の天上山の山頂近くにあるこの公園には 3 階建ての展望台があり、ここから南の富士山を含む 360 度の全景を見ることができます。

麓からのハイキングコースもありますが、来訪者の大半は、富士山パノラマロープウェイに乗ります。このロープウェイは、森林に覆われた斜面の上空を上り、この標高 1,075m の公園までの標高差 219m の距離をわずか 3 分間で移動します。

「カチカチ山」

このロープウェイと公園のテーマは、「カチカチ山」という、性悪タヌキに悪さをされた農夫を助けにやってきたウサギが出てくる日本の民話をもとにしたものです。この物語のある時点で、ウサギはタヌキが背負っていた木の一部に火をつけようと、火打ち石と鋼を使います。タヌキが燃えさかる木から聞こえるカチカチという音に気づいたとき、ウサギは「カチカチ山」の音に違いないとぼけます。タヌキは、ひどい火傷を負ったあとになって初めて騙されたことに気づきます。有名な小説家、太宰治（1909-1948）が現代風に書き直した「カチカチ山」では、物語の舞台が具体的に天上山となっています。

カラフルな像から、土産物や軽食を販売している「たぬき茶屋」まで、この民話を基にした像や民話をほのめかす物が公園のいたるところにあります。この公園にはうさぎ神社という本物の神社まであります。その他にも富士山を背景としたハート型の枠にかかった天上の鐘や、小さな陶器製の皿を投げてロープの輪をくぐらせるスキルを試すことができるかわらけ投げ場という小さな呼び物があります。富士山を何にも遮られることなく見たいという来訪者は、7 メートルの武田信玄の戦国広場絶景やぐらのぼることもできます。

年中楽しめるアトラクション

天上山公園は 1 年を通じて特別なイベントを開催しています。温かい季節には、ヨガインストラクターが、富士山が見守る展望台での夜明けのヨガクラスを開催します。冬には、花火や展望デッキでのこたつを呼び物としたイベントなどが開催されます。来訪者は温かいこたつの毛布の下に座り、まるで自宅の居間でくつろいでいるかのように富士山を見ながら温州みかんを食べることができます。

ロープウェイからの景色は、夏の緑豊かな景色から、秋の金色や赤色に染まった紅葉、そして冬によく降る一面の白い雪など、季節ごとに変わります。天候がいい場合には、来訪者の多くはロープウェイを使って上り、帰りには森の中をハイキングして下山します。天上山の頂上は、ロープウェイの山頂駅か

ら徒歩 10 分のところにあり、冒険好きなハイカーは、ここから北東にある三ツ峠山への約 3 時間のハイキングに出かけることもできます。